

自動車購入に関するアンケート調査

調 査 要 領

調 査 目 的	消費者の自動車購入に対する意識を確認する為アンケート調査を実施 平成 13 年、15 年に続く調査
調 査 対 象	鳥取県内勤労世帯の家計を主に取りしきる方 1,000 名を対象
調 査 期 間	平成 19 年 5 月 14 日(月)~5 月 25 日(金)の 10 営業日
調 査 方 法	鳥取銀行県内各支店を通じ、所定の調査票によるアンケート方式 (平成 19 年 夏のボーナス・消費アンケート調査と同時に実施)

回 答 状 況

回答者数: 702 人(回収率 70.2%)

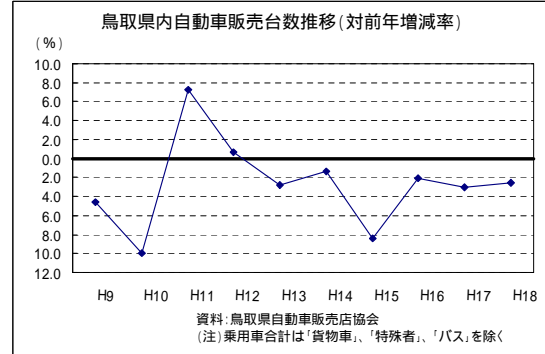
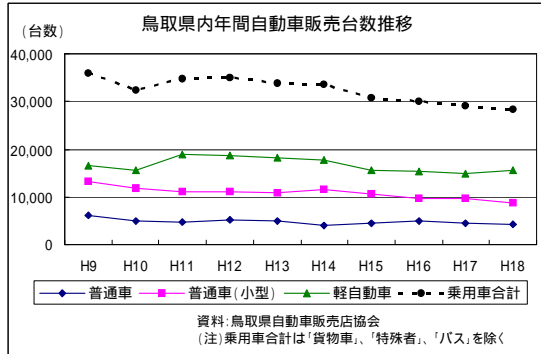
(年 齢 層)	(回 答 者 数)
20 歳代	151 人
30 歳代	208 人
40 歳代	200 人
50 歳以上	143 人
全体	702 人

アンケート調査項目

1. 自動車の保有台数
2. 購入(買い替え)予定の有無
3. 買い替えサイクル
 - (1)現状の買い替えサイクル
 - (2)買い替えサイクルの変化
 - (3)買い替えサイクルが長くなった理由
 - (4)長くなった年数
4. 購入予算
5. 購入資金の調達方法
6. 購入(買い替え)予定の車種(今回より追加した質問項目)

概 況

個人消費の動向を探る代表的な指数として「自動車の販売台数」があるが、近年減少傾向で推移し、平成18年の鳥取県内における年間自動車販売台数は28,440台まで減少し、個人消費がかなり弱含んでいる事が予想される状況である。



そこで今回、平成13年と15年に続いて、今後の自動車販売の動向と自動車購入に対する消費者(世帯)の意識を確認する為、平成19年夏のボーナス・消費アンケート調査とともに自動車の購入に関してアンケート調査を行った。

その結果、1世帯当たりの自動車の平均保有台数は2.14台となり、前回調査と比較して0.08台減少した。

自動車の購入については、4世帯に1世帯の割合で「新規購入予定」、「買い替え予定」、「購入希望」など自動車購入に前向きな計画があった。

自動車の買い替えサイクル(平均)は、7.0年で、平成15年調査結果から僅かながら増加した。

回答世帯の3割において、買い替えサイクルが「長くなった」と回答しており、その要因として、車の耐久性向上などの影響もあるが、所得の減少からくる将来への備えに対する意識の向上から、支出を抑制している世帯が増えた事が大きく影響している。

自動車の平均購入予算は206万6千円で、前回調査と比較して+23万5千円増加した。全体の平均購入予算の大幅な増加は、「30歳代」における増加が起因している。

購入資金の調達方法については、世帯の所得が減少するなかで、自動車購入に際してローン返済負担額が増加するよりも、自己資金を貯めて購入する世帯が増加したのか、全体で「全て自己資金」にて自動車を購入する世帯の割合が34.4%となり、前回調査より+7.6ポイント増加した。

また、今回より追加した質問事項である購入(買い替え)予定の車種については、自動車の購入計画のある世帯において、約6割の世帯が「普通車(セダン、ワンボックス、ワゴン、RV等)」の購入を希求している事が窺える結果となった。

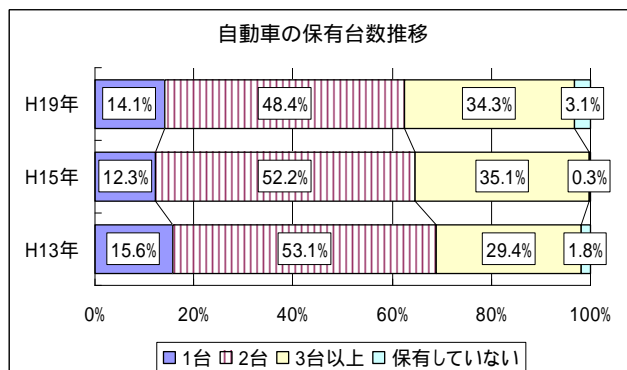
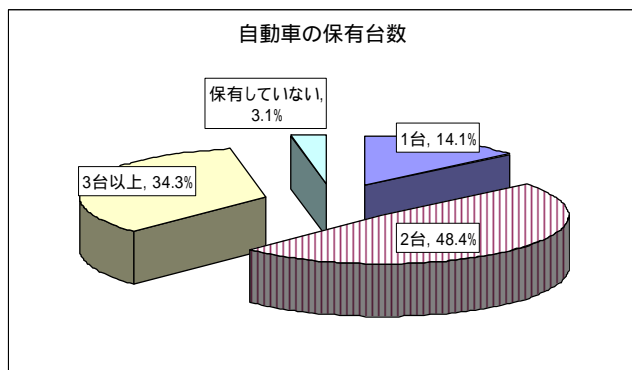
年代別の特徴

20歳代	<ul style="list-style-type: none"> 約4世帯に1世帯の割合で自動車購入を計画 自動車購入(買い替え)サイクルの平均は6.1年と他の年代と比較して回転は早い 平均購入予算は189万3千円
30歳代	<ul style="list-style-type: none"> 約5世帯に1世帯の割合で自動車購入を計画 自動車購入(買い替え)サイクルの平均は6.9年 平均購入予算は252万3千円 自動車購入計画割合は他の年代と比較して低く、買い替えサイクルも全体の平均水準であるが、自動車購入予算は他の年代と比較して圧倒的に高い
40歳代	<ul style="list-style-type: none"> 約4世帯に1世帯の割合で自動車購入を計画 自動車購入(買い替え)サイクルの平均は7.3年、「以前より買い替えサイクルが長くなった」と感じている割合が一番高い年代 平均購入予算は176万2千円
50歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 約3世帯に1世帯の割合で自動車購入を計画しており、他の年代と比較してその割合が一番高い世代 自動車購入(買い替え)サイクルの平均は7.4年 平均購入予算は176万2千円

. 自動車の保有台数

1世帯(勤労世帯)当たりの自動車の保有台数(3台以上は3台として計算)は2.14台(平成15年調査2.22台)となり、前回調査より平均保有台数は0.08台減少する結果となった。

1世帯の自動車の保有台数は、「2台保有」が48.4%(同52.2%)と最も多く、次いで「3台以上保有」が34.3%(同35.1%)、「1台保有」が14.1%(同12.3%)であった。「保有していない」は3.1%(同0.3%)と僅かであり、殆どの世帯で1台以上の自動車を保有しており、世帯における運転免許取得者数に応じた保有台数となり、1人1台に近い自動車保有状況となっている事が窺える。

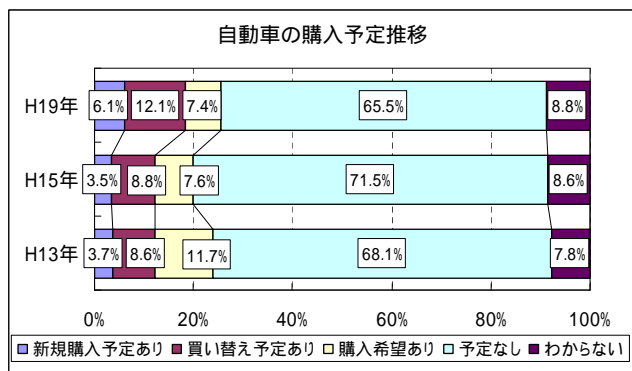


. 購入(買い替え)予定の有無

ここ1年以内の自動車の購入(買い替え)予定の有無について尋ねたところ、「新規購入予定あり」が6.1%(平成15年調査:3.5%)、「買い替え予定あり」が12.1%(同8.8%)となり、合計で18.2%(同12.3%)の世帯で、自動車の購入を計画している。

またこれに「購入希望あり」7.4%(同7.6%)を含めると、その合計は25.6%(同19.9%)となり、4世帯に1世帯で自動車購入(買い替え)を計画していると言える。

年代別にみると、「新規購入予定あり」、「買い替え予定あり」、「購入希望あり」など自動車購入(買い替え)を計画しているのは、50歳以上が29.4%と最も多く、反対に30歳代が最も少なくなっている。



	新規購入予定あり	買い替え予定あり	購入希望あり	予定なし	わからない
20歳代	9.3%	9.9%	6.6%	67.5%	6.6%
30歳代	6.3%	9.1%	4.8%	71.2%	8.7%
40歳代	3.0%	17.0%	8.5%	63.5%	8.0%
50歳以上	7.0%	11.9%	10.5%	58.0%	12.6%
全体	6.1%	12.1%	7.4%	65.5%	8.8%

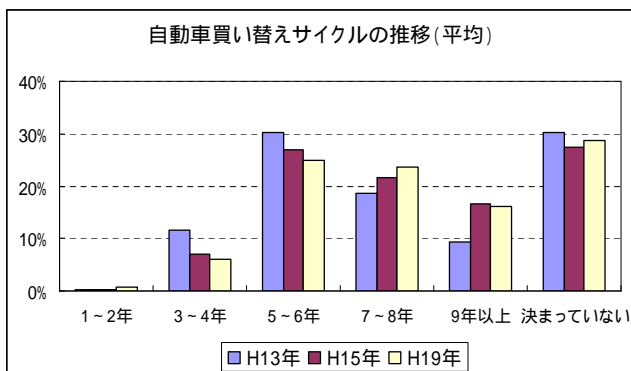
. 買い替えサイクル

(1) 現状の買い替えサイクル

自動車の買い替えサイクルの現状を回答した方の平均(「9年以上」と回答された方は10年で計算)は7.0年(平成15年調査:6.9年)となった。

全体で見ると、「特に決まっていない」が28.6%(同27.5%)で最も多く、次いで「5~6年」24.8%(同27.0%)、「7~8年」23.6%(同21.7%)、「9年以上」16.1%(同16.5%)と続いている。

年代別では、「20歳代」の平均が6.1年(同6.0年)と買い替えサイクルが最も短くなっており、年代が高くなるにつれて、徐々に買い替えサイクルが長くなっている。特に「40歳代」における買い替えサイクルは7.3年(同6.9年)となり、平成15年調査より+0.4年買い替えサイクルが長くなっている。



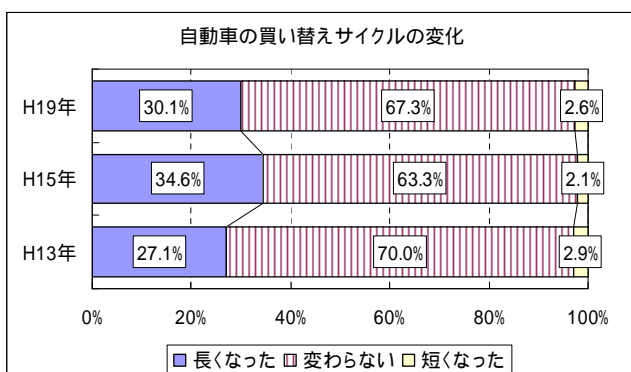
	1~2年	3~4年	5~6年	7~8年	9年以上	特に決ま ていない	平均
20歳代	2.1%	11.1%	29.2%	11.8%	9.7%	36.1%	6.1年 (6.0年)
30歳代	0.5%	6.9%	25.6%	24.6%	14.3%	28.1%	6.9年 (6.9年)
40歳代	0.0%	4.1%	20.9%	31.6%	18.4%	25.0%	7.3年 (6.9年)
50歳以上	0.7%	2.8%	24.6%	23.2%	21.8%	26.8%	7.4年 (7.2年)
全体	0.7%	6.1%	24.8%	23.6%	16.1%	28.6%	7.0年 (6.9年)

注:()内は平成15年調査における「買い替えサイクル(平均)」

(2) 買い替えサイクルの変化

自動車の買い替えサイクルの変化については、「変わらない」が67.3%(平成15年調査:63.3%)で最も多く、「長くなった」が30.1%(同34.6%)、「短くなった」が2.6%(同2.1%)となっている。

「長くなった」と回答する割合が高い年代は「40歳代」44.9%(同41.3%、対平成15年調査比+3.6ポイント)、「50歳以上」35.2%(同30.1%、同比+4.1ポイント)であった。反対に、割合が低い年代は「20歳代」12.5%(同21.8%、同比-9.3ポイント)、「30歳代」24.6%(同35.6%、同比-11ポイント)であった。



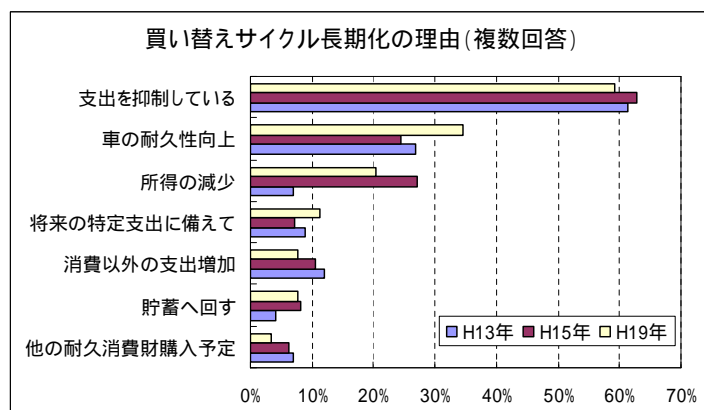
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	全体
長くなった	12.5% (21.8%)	24.6% (35.6%)	44.9% (41.3%)	35.2% (30.1%)	30.1% (34.6%)
変わらない	84.0% (76.9%)	72.4% (62.1%)	53.6% (56.2%)	62.0% (68.1%)	67.3% (63.3%)
短くなった	3.5% (1.3%)	3.0% (2.3%)	1.5% (2.5%)	2.8% (1.8%)	2.6% (2.1%)

注:()内は平成15年調査における「買い替えサイクルの変化」

(3) 買い替えサイクルが長くなった理由

自動車の買い替えサイクルが長くなったと回答した方にその理由(複数回答)を尋ねたところ、「支出を抑制している」が59.2%(平成15年調査:62.8%)で最も多く、次いで「車の耐久性向上」34.5%(同23.2%)、「所得の減少」20.4%(同27.1%)、「将来の特定支出に備えて」11.2%(同7.2%)、「消費以外の支出増加」7.8%(同10.6%)、「貯蓄へ回す」7.8%(同8.2%)、「他の耐久消費財購入予定」3.4%(同6.3%)となっている。

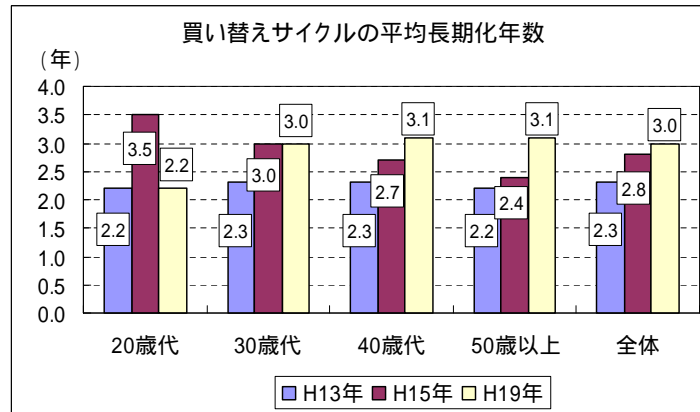
自動車の買い替えサイクルが長くなった要因として、自動車そのものの耐久性が向上し、機能面で劣化しづらくなった事もあげられるが、所得の減少からくる将来への備えに対する意識の向上から、世帯における支出を抑制している事が主な要因としてあげられる。



(4)長くなった年数

自動車の買い替えサイクルが「長くなった」と回答した方に、長くなった年数(以前と比べてどれだけ長くなったのか)を尋ねたところ、回答者の平均長期化年数は3.0年(平成15年調査:2.8年)という結果となった。

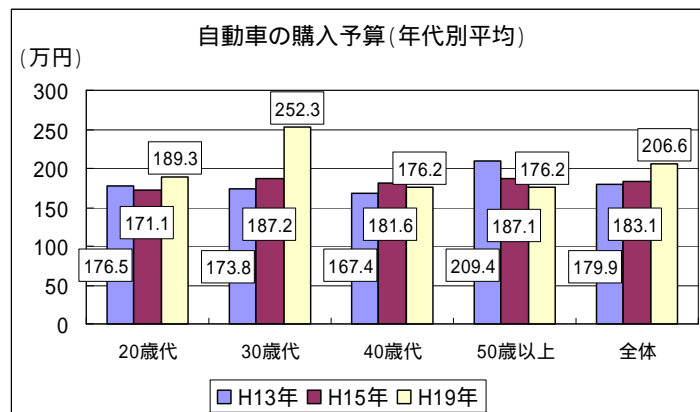
これを年代別にみると、「20歳代」の平均長期化年数は2.2年(同3.5年)、「30歳代」で3.0年(同3.0年)、「40歳代」で3.1年(同2.7年)、「50歳以上」で3.1年(同2.4年)である。「20歳代」で対平成15年調査比1.3年、「30歳代」で同比±0年であったが、「40歳代」で同比+0.4年、「50歳以上」で+0.7年と、高い年代での長期化年数が増加していると言える。



購入予算

自動車を「新規購入予定あり」、「買い替え予定あり」と回答した方に、その購入予算を尋ねたところ、自動車の購入予算は回答者全体の平均で206万6千円(平成15年調査:183万1千円)となり、平均購入予算は+23万5千円増加する結果となった。

年代別では、「20歳代」の平均購入予算は189万3千円(平成15年調査比+18万2千円)、「30歳代」で252万3千円(同比+65万1千円)、「40歳代」で176万2千円(同比5万4千円)、「50歳以上」で176万2千円(同比10万9千円)であった。「30歳代」の平均購入予算の増加が、回答者全体の平均購入予算を引き上げている。

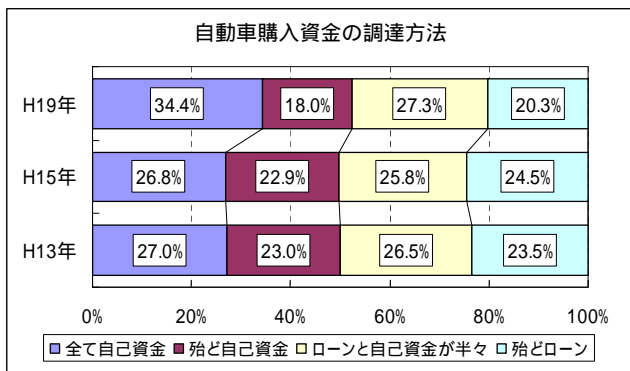


購入資金の調達方法

自動車を購入する場合の「資金の調達方法」を尋ねたところ、「全て自己資金」との回答が34.4%(平成15年調査:26.8%)と最も多い回答であった。その他は、「殆ど自己資金」が18.0%(同22.9%)、「ローンと自己資金が半々」が27.3%(同25.8%)、「殆どローン」が20.3%(同24.5%)という割合になった。

平成15年調査と比較すると、「全て自己資金」の割合は+7.6ポイント増加しており、反対に「殆どローン」の割合は4.2ポイント減少している。

世帯の所得が減少するなかで、自動車購入に際してローン返済負担額が増加するよりも、自己資金を貯めて(それでも不足部分は一部ローンを利用して)自動車を購入するという世帯の割合が増加している事が窺える。



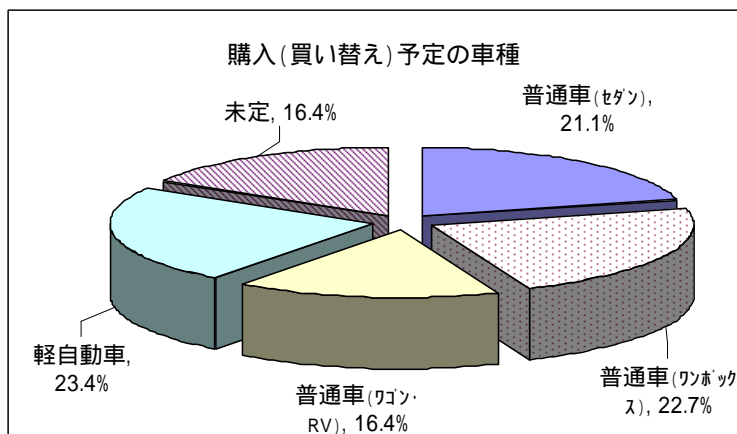
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	全体
全て自己資金	35.7% (11.4%)	38.7% (28.0%)	28.6% (28.0%)	37.0% (33.3%)	34.4% (26.8%)
殆ど自己資金	14.3% (29.5%)	3.2% (17.2%)	26.2% (22.4%)	25.9% (26.1%)	18.0% (22.9%)
ローンと自己資金が半々	28.6% (36.4%)	35.5% (22.6%)	23.8% (29.9%)	22.2% (17.4%)	27.3% (25.8%)
殆どローン	21.4% (22.7%)	22.6% (32.3%)	21.4% (19.6%)	14.8% (23.2%)	20.3% (24.5%)

注：()内は平成15年調査における「購入資金の調達方法」

購入(買い替え)予定の車種(今回より追加した質問項目)

自動車を「新規購入予定あり」、「買い替え予定あり」と回答した方に、その購入(買い替え)予定の車種について尋ねたところ、「普通車(セダン、ワンボックス、ワゴン、RV等)」を予定している割合は60.2%、「軽自動車」は23.4%、「未定」が16.4%であった。

近年、原油価格の高騰によりガソリンや軽油等の自動車燃料の販売価格が上昇しており、自動車購入においても比較的燃費が良いとされる軽自動車の希求が高まる事が予想されたが、実際は、自動車の購入計画のある世帯において約6割の世帯で普通車を希求している結果となった。



以上
アンケートにご協力頂き有難うございました。